

地域づくりネットワーク会議 ニュース ～ 第16号 ～

『(仮称)大江緑道 地域ネットワーク会議』を開催しました！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される「(仮称)大江緑道」の魅力づくりの方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

去る平成25年8月30日(金)、滋賀県立大学の森川稔客員准教授の司会・進行により地域ネットワーク会議を開催しました。大江緑道に係るこれまでの取り組み、今年度の活動案について報告を行い、森川先生から話題提供を頂き、質疑および意見交換を行いましたので、その内容をお知らせします。

■ 『(仮称)大江緑道 地域ネットワーク会議』の概要

日 時：平成25年8月30日(金) 13:30～15:30

会 場：アクアワールド水郷パークセンター内 パークセンターホール

参加者：大江小学校、漁業協同組合、パークパートナー、公園センター、海津市、岐阜県等行政関係者、等計26名

主 催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所

共 催：海津市



■ 当日のプログラム内容

○(仮称)大江緑道に係るこれまでの取組報告と今年度の活動案について

(国土交通省 国営木曾三川公園下流河川事務所)

- ・これまでの取組結果報告
- ・今年度の会議、社会実験の実施予定
- ・質疑応答

○コメンテーターからの話題提供

『協働で創るふるさと海津の誇り「大江緑道」』

(滋賀県立大学 森川稔客員准教授)

○意見交換



■ これまでの取組結果について

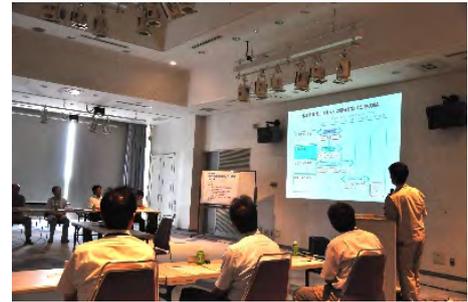
大江緑道事業の概要説明、水郷景観(堀田)の再生と、民活イベント・物販の2つのテーマを中心にワーキング会議を開催してきたこと、大江緑道事業が事業認可を受け用地測量および取得を始めること、平成29年に堀田の運用を開始する予定であること等の報告が事務局よりなされました。



■今年度の会議、社会実験の実施予定

事務局から、今年度のワーキング会議では、堀田の設計、運営する組織づくりのための準備会を立ち上げること、物販・舟運の社会実験については、関係者が海津マルシェ会議で検討を続けていること、等の報告がなされました。

今年度の物販の社会実験『海津マルシェ』については、アクアワールド水郷パークセンターのイベント（秋の祭りまつり）で開催される「手作りハンドメイド市」と同時開催することが決定したことが報告されました。



■話題提供

『協働で創るふるさと海津の誇り「大江緑道」』

滋賀県立大学 客員准教授・工学博士 もりかわみのる 森川 稔 先生

大江緑道事業への期待として、滋賀県立大学の森川先生からコメントを頂きました。



- 大江緑道事業の目的の一つは、大江地域の価値（歴史・文化・くらし・景観等）を次代に継承していくことだ。
- いろんな立場の人が、堀田の再生や海津マルシェに関わり、『新しい人のつながり』を創って行って欲しい。
- 大江緑道事業は海津市の皆にとって大きなチャレンジである。事業を通じて地域が積極的に動き、皆が知恵と汗を出しあうことを期待している。

■意見交換

大江緑道の今年の取り組みと今後の展開について、次のようなご意見を頂きました。

- 再生堀田では、子供に体験させるにあたっては、単なる行事ではなく、歴史などの教育プログラムを組んで使っていくことを考えたい。
- 再生堀田は親子でも来られるような場所にしたい。リピーターを作れば観光面でも期待できる。
- 再生堀田が、子どもまちづくり講座などで自然観察の場として利用できることを期待している。
- （仮称）大江緑道でジョギングやサイクリングをするときには、きれいな大江川が見られたら良い。堀田でも水が綺麗なら、癒しになるし、貴重な生物も集まるだろう。それは海津の人々の誇りになるだろう。
- アクアワールド水郷パークセンターと木曾三川公園センターをつなぐバスを運行してはどうか。
- 海津マルシェは、継続し、周辺に認知されれば、より良い商品を出すことができ、集客を増やすことにもつながるだろう。
- 将来的には、ボランティアガイドの「ふる里おもてなし隊」や、舟運などの事業と連携できれば面白い。歴史民俗資料館の入館者も増えるかもしれない。
- ワーキング会議のことをもっと広く発信して欲しい。小学校にチラシを置くなどしてはどうか。

※次回の地域ネットワーク会議の開催は今年度の2月を予定しています。



発行：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課
TEL：0594-24-5719
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>